**5月2日　特定非営利活動法人　Teach For Japan 代表理事　松田　悠介　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

G-netの秋元さん、ケアプロの川添さんから教わった「自ら行動する勇気」「想いをアイデアにするひらめき力」「人と人とのつながりを大切にする心」の３つに加えて、リーダーになるのに必要な人間力として「目的意識をもって努力すること」があるのだと思いました。いろいろな話を聞いているうちに、リーダーとは何か、が見えてきているように感じた。（教育人間・学校教育・１年）

今回の講義を聞くまでは、“教育”という業界にあまり興味がなかったのですが、松田さんのお話を聞いて教育の素晴らしさや可能性に気づかされました。お話の中で印象に残ったのは“ムカつく瞬間が最大のチャンス”という言葉です。自分も日常生活の中で他人と話をしてムカつく瞬間が結構あります。これからはそういう人とも積極的に関わっていきたいと思います。松田さんはとても熱い方だという印象を抱きました。これからも教育界を変えていくために頑張ってください。(経営学部会計・情報学科、１年)

私も体育が苦手だったので松田さんの中学時代のいろいろな苦難を乗り越え、それを通じて体育が好きになれたのはすごいなと思いました。

今の日本の学生が上のランクの大学を受けたがり、学部に興味がないという状況に陥っているのは、現在の企業の採用方法に問題があるからだと思います。現在の企業は昔よりはましになったかもしれないですが、それでもやはり出身大学で部署なども振り分けられているところがあるから、大学名にこだわる人が多いのだと思います。また、社会の人々も出身大学のレベルで人を判断し、人の本質を見極めようとしていないと思います。だから、学生を責めるのではなく、まずは社会の意識の改善から始めなければならないと思います。

教育の現場で“子供が悪いのではなく大人たちが悪い”という考え方をされていたのは素晴らしいなと感じました。私は一旦就いた職から離れることは経済的に不可能であると思うので、松田さんの職場を離れて活動を始められたのはすごいなと感じました。（経済学部　国際経済学科　１年生）

　教科の好き嫌いは教師や得手不得手次第、つまり成功体験が重要だということが分かりました。成功体験は目的意識を持ってそれに向かって努力していくことで得られるということを知ったので、まずは自分が成功体験を得られるよう努力したいと思います。ハーバードではアウトプットが“学び”だということには衝撃を受けました。自分もインプットだけに満足せずその先の“学び”を目指していきたいです。（経営学部・経営学科 １年）

「貧困の連鎖」については、私も常々思っていたことでした。私の実家も大変貧しかったです。地方出身の両親は中卒で、毎日、その日暮らすのが精一杯の自転車操業で、年金も払っていませんでした。もちろん子供の教育など考えておらず、高校進学後は小遣いも昼食もないのでアルバイトでまかない、大学を希望する私に、「ふざけるな！高校卒業後は家にお金を入れるか出ていくかだ！」と言いました。私は高校卒業後まもなく結婚し、子供を二人産みました。が、若い夫も中卒で、離婚をして私は母子家庭になりました。私も親と同じでその日の暮らしを稼ぐのに夢中で、結果、子供の教育に全く手が回りませんでした。今、二人の子は働き始めて、私は二十五年前にできなかった勉強する夢を叶えるために働きながら夜間大学に通っています。私がこんな年齢で勉強を楽しむ姿を子供たちに見せることで、子供たちに、勉強を始めるのに遅すぎることはなく、勉強は楽しいものなのか、と感じて欲しいからです。学ぶことは、選択肢を広げることで、貧困から脱出できる唯一の手段だと思っています。これからも、貧困の子たちに教育の楽しさを教えてください。（経営学部１年）

　私は将来、世界中の子供たちが平等に意見を述べることができる環境を作りたいと思っています。そのためには、平等な教育機会を設けなければならないと考えています。今回の講義を通して、私は松田さんと同じように、子供に強い影響を与えることができる存在になりたいと思いました。私は子供全員に夢を持ってほしいし、個性を主張してほしいです。私の夢を叶えるためにも積極的にアクションを起こし、多く子供たちと触れ合ってたくさん勉強して「あの人に出会えてよかったな」と思われる人間になりたいと思いました。（教育人間科・人間文化　1年）

松田さんのお話を聞いて、授業を休みたいとか楽に単位を取りたいと思う自分が情けなく感じました。自分はなぜ、この大学を選んだのか、なぜ経営学部を選んだのか問われると、明確な答えを出すことができません。「目的意識をもつことで、世界が広がる」という言葉が心に残りました。目的のない行動なんてないと思います。ただ、それを自分で意識していないだけなのではないかと思います。何か行動する時、自分は何故それをするのか、また、自分は本当は何をしたいのか、自分を見つめ直していきたいです。　(経営学部・経営システム科学科1年)

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

　私はそれなりの目的をもってこの大学の経済学部に入学しましたが、今現在自分の受けている授業にはあまり興味のないものもあります。しかし、それらを『興味がない』と決めつけないで、今後自分の活動にどう関わらせていけるかを考えていきたいと考えました。そうすることで、時間を無駄にすることなく、自分の目的に近づいていけるのではないかと思います。また松田さんがおっしゃっていたように、自分とは合わないような人たちと積極的に関わっていきたいです。（経済学部経済システム学科１年）

こんな大人に出会いたかったというビジョンはいまさら言っても仕方のないものではありますが、これからの大人として子供に向き合ってく自分の姿として参考になるものがありました。自分のやりたいことを将来の目標として確立し、大人だろうが子供だろうが熱意をもって真摯に向き合いたいと思います。その確固たる目標を見つけるためにも「試し食い」是非やってみます。ありがとうございました。(経営学部経営学科、１年)

授業スタッフの感想

松田さんの講義、本当に熱かった……。

アンケートを見る限り、その熱い心に胸を打たれたと同時に今の自分を見返した人が多かったようです。

半分以上の人がまだ将来やりたいことが見つかっていない中で、何かを見つけたい！！と思った人が多かったです。

自分の考えですが、経営学はそんな人に向いていると思います。何事にも経営は必要、経営は広い分野に適応できます。自分もやりたいことは決まっていません。でも、このリーダーシップの授業を受けていれば、何か得られると感じています。相手からどれだけ吸収するのかは自分次第、これからの起業家の皆さんのお話もしっかりと聞いて自分の可能性を広げたいと思いました。